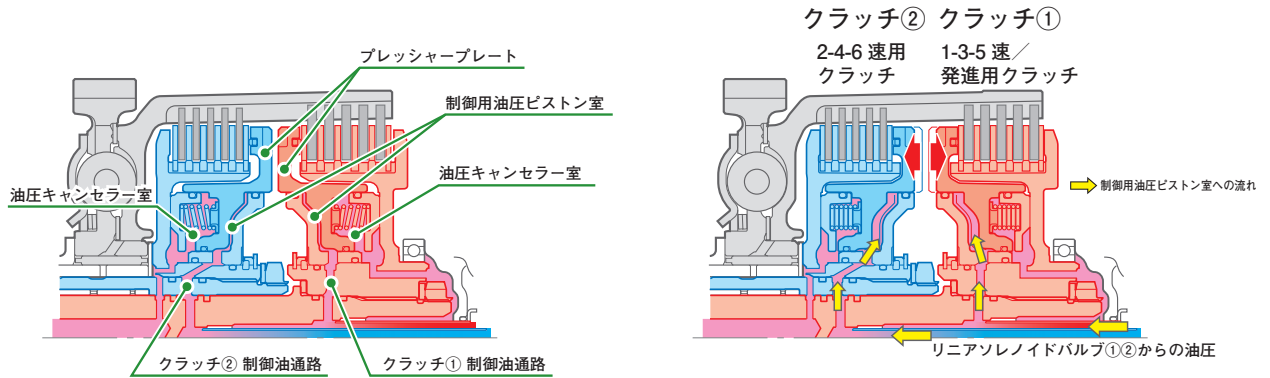


## デュアル クラッチ トランスミッションの構造 (3)

## Dual Clutch Transmission

2つのクラッチを同軸上に直列配置し、クラッチディスクの内側に制御用油圧ピストンを設けることで小型化を実現(特許出願中)。横置きエンジンの横方向への張り出しも抑えています。



制御用油圧ピストン室にリニアソレノイドバルブ①②からの油圧が掛かりプレッシャープレートが移動。これによりクラッチディスクが押し当てられクラッチがつながる。

この独立制御されたクラッチ①(奇数段)とクラッチ②(偶数段)を協調制御することにより、駆動力の途切れない変速操作を瞬時にこなしている。

リニアソレノイドバルブなどのクラッチ制御デバイスと油圧回路をすべてエンジンカバーに集約することで、軽量・コンパクトな構造を実現。2つの制御デバイスで各々のクラッチを独立して最適制御することによって、スムーズな発進とショックレスな変速を実現しました。

